

安定期に入っていく夏休み子供実験ショー

15年度活動報告

(1) 「夏休み子供実験ショー」

まずは、安定期に入っていく「夏休み子供実験ショー」について、報告する。日本科学未来館に会場を移して2年目になる今年は、来場者数が、8月22日(金)～8月24日(日)の三日間で10,000名と昨年の2倍であった。昨年借りることのできなかった未来館1Fのシンボルゾーンには、企業10ブース、未来館ボランティア1ブース、つくば科学万博記念財団1ブースの合計12のおもしろ実験コーナーと高校教師による液体窒素を使った講義実験が行われた。さらに7階では、クイズショーが1日2回、同時に参加型実験教室が2テーマ(手作り乾電池・スライム)開催された。未来館を会場とする「夏休み子供実験ショー」は2回目ではば問題点も抽出され、今後安定期に入っていくと予想される。

今後の課題を以下箇条書きに述べてみる。

未来館1F会場と7F会場のリンク

運営マニュアルの充実(諸連絡の徹底)

より安全・簡単に取り組める参加型実験の増強。



(2) 夢科学サイトについて

インターネットを利用した普及啓発活動の一環として、自由研究広場・部活動紹介広場、楽しい化学実験などのコーナーを立ち上げるため作業メンバーを決め検討にはいった。自由研究広場・部活動紹介広場については募集要項案が作成され、楽しい化学実験については見本のコンテンツが一部作成された。なお、昨年度本WGが撮影した、夏休み子供化学実験ショーのデジタルコンテンツは、日本化学工業協会の「夢化学21」サイトである「不思議の国の化学」<http://www.kagaku21.net/>のバーチャルラボに編集され8本がアップされた。

16年度活動企画

(1) 「夢化学21」夏休み子供化学実験ショーの開催

今年度に引きつづき「夢化学21」夏休み子供化学実験ショ



ーは、日本科学未来館1Fと7Fを利用し、平成16年8月27日(金)～8月29日(日)の三日間開催される。演示型から入場者参加型へ移行する企業が若干増加しそうである。われわれのWGが担当する入場者参加型実験は今年好評であったスライムをテーマにしたものが有力である。さらに人気のあったクイズショーと講義実験など定番のレベルをいかに保っていくかが今後の課題である。また、未来館の1Fと7Fを会場にする現状のシステムの中で、いかに入り口から指定された教室までの経路をわかりやすくするかは、今後も改善が必要である。

(2) インターネットを利用した普及啓発活動

15年度夏休み子供化学実験ショーで本WGが撮影したDV画像などは編集され、デジタルコンテンツとして日本化学工業協会の「夢化学21」サイトにアップされる予定である。化学QA、自由研究や理科系部活動の発表の場などインターネットを利用した普及啓発活動の充実は急務ではあるが、まずは、小・中学生を対象に的を絞りたい。実験ショーに関するデジタルコンテンツの作成とアップは、日本化学工業協会の「夢化学21」サイトに一本化し、今後は理科大好きプランなど国が進めるいろいろ理科振興の予算措置に対して、積極的にかかわりながら、小・中学生向けの化学啓発デジタルコンテンツの作成に全力をあげるべきと考える。

齊藤 幸一(開成学園)

夢化学・メディア対応WG 主査

夢化学・メディア対応WG委員会: 大野哲也(都立葛西南高), 岡村 寿(富士フィルム), 小川治雄(学芸大教育), 斎藤 潔(桐蔭横浜大工), 齊藤幸一(開成学園), 坂井英夫(学芸大附属高), 佐々木和枝(お茶女大附属中), 菅原義之(早大理工), 内藤卓哉(東芝), 中村 聡(東工大生命理工), 茂串圭男(県立春日部東高), 山元公寿(慶大理工), 若林文高(科学博物館)